



## 衛生と近代 ペスト流行にみる東アジアの統治・医療・社会

[永島 剛](#)：編, [市川 智生](#)：編, [飯島 渉](#)：編

A5判 276ページ 上製

定価：4,800円+税

ISBN978-4-588-37604-7 C1022

奥付の初版発行年月：2017年04月 / 発売日：2017年05月上旬

発行：[法政大学出版局](#)

予約受付中

### 著者プロフィール

#### 永島 剛 (ナガシマ タケシ)

1968年生まれ。英国サセックス大学大学院博士課程修了。D. Phil. (History)。専修大学経済学部教授。医療社会史、都市史。

“Meiji Japan’s encounter with the ‘English system’ for the prevention of infectious disease”, *The East Asian Journal of British History*, Volume 5, 2016. 「19世紀末イギリスにおける保健行政——ブライトン市衛生当局の活動を中心として」、『社会経済史学』第68巻第4号、2002年。

#### 市川 智生 (イチカワ トモオ)

1976年生まれ。横浜国立大学大学院国際社会科学研究所博士後期課程修了。博士（学術）。長崎大学熱帯医学研究所助教。日本近代史、医療社会史。

「近代日本の開港場における伝染病流行と外国人居留地——1879年「神奈川県地方衛生会」によるコレラ対策」、『史学雑誌』第117編第6号、2008年。「明治初期の伝染病流行と居留地行政——1870・71年横浜の天然痘対策」、『日本歴史』第762号、2011年。

**飯島 渉 (イジマ ワタル)**

1960年生まれ。東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学。博士（文学）。青山学院大学文学部教授。医療社会史。

『ペストと近代中国——衛生の「制度化」と社会変容』研文出版、2000年。『感染症の中国史——公衆衛生と東アジア』中央公論新社（中公新書）、2009年。

上記内容は本書刊行時のものです。

---

**【執筆者紹介】**

芹澤良子（せりざわよしこ）

お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程修了。博士（人文科学）。医療社会史。

「ハンセン病医療をめぐる政策と伝道——日本統治期台湾における事例から」、『歴史学研究』第834号、2007年。「日治時期台湾癩病防治政策的発展」、国史館台湾文献館整理組『第四届台湾総督府檔案学術研究会論文集』国史館台湾文献館、2006年。

福士由紀（ふくしゆき）

1973年生まれ。一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了。博士（社会学）。首都大学東京都市教養学部准教授。中国近現代史。

『近代上海と公衆衛生——防疫の都市社会史』御茶の水書房、2010年。

戸部 健（とべけん）

1976年生まれ。慶應義塾大学大学院文学研究科後期博士課程修了。博士（史学）。静岡大学大学院人文社会科学領域准教授。中国近現代史、教育・医療社会史。

『近代天津の「社会教育」——教育と宣伝のあいだ』汲古書院、2015年。「北洋新政時期天津中医界的改革活動与地域社会」、『中国社会歴史評論』第8巻、2007年。

金 穎 穂（キムヨンス）

1977年生まれ。東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得満期退学。博士（学術）。韓国延世大学校医科大学研究員。医療社会史、東アジア医学史、韓国・日本近代史。

「植民地朝鮮の防疫対策と中国人労働者の管理」、『医史学』第23巻第3号、2014年。“The development of medical and sanitary systems in the treaty port of Incheon”, *Journal of Comparative Asian Development*, Volume 11, Issue 1, 2012.

村上 咲（むらかみさき）

1978-2008年。東南アジア医療社会史。

「ペスト対策を通じたオランダ領東インド専門保健行政の定着、1900-1925年」、『社会経済史学』第73巻第3号、2007年。“Call for doctors!: uneven medical provision and the modernization of state health care during the decolonization of Indonesia, 1930s–1950s”, Freek Colombijn and Joost Coté (eds.), *Cars, Conduits, and Kampongs: The Modernization of the Indonesian City, 1920–1960*, Brill, 2015.

## 目次

はじめに	永島 剛
第1章 ペスト・パンデミックの歴史学	飯島 渉
第2章 香 港 一八九四年 —〈イギリス流〉衛生行政と植民地社会—	永島 剛
第3章 台 湾 一八九六年 —日本の〈帝国医療〉の揺籃—	芹澤良子
第4章 神 戸 一八九九年 —開港場の防疫と外国人社会—	市川智生
第5章 上 海 一九一〇年 —暴れる民衆、逃げる女性—	福士由紀
第6章 天 津 一九一一年 —鼠疫をめぐる中医の社会史—	戸部 健
第7章 朝 鮮 一九一一年 —総督府と満洲ペスト流行の脅威—	金穎穂
第8章 ジャワ 一九一一年 —ペスト政策を通じたオランダ領東インド専門保健行政の定着—	村上 咲
あとがき	永島 剛・市川智生
索 引	

本を見る・探す

- [主題による図書紹介](#)
- [各大学出版部>別に見る・探す](#)
- [受賞図書](#)
- [詳細検索](#)

新刊速報